

★えんがる 議会だより



- 平成24年度各会計当初予算…………… P 2～9
- 平成24年第1回町議会(定例会)
- ここが聞きたい!! 一般質問…………… P 10～13
- 所管事務調査報告…………… P 14～15
- 友好都市間の災害時相互応援協定締結… P 16

算全会一致で可決！ 億2453万円

平成24年 3月定例議会

平成24年3月開催の第1回定例町議会は、8日に招集され16日までの9日間の会期で開かれ、冒頭、佐々木町長・富永教育委員長から施政執行方針などが説明されました。審議案件は、平成23年度一般会計補正予算の専決処分1件、人権擁護委員候補者の推薦1件、規約変更1件、条例制定1件、条例の一部改正10件、平成23年度一般会計などの補正予算6件、平成24年度各会計予算8件、追加議案2件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

また、一般質問では、4人の議員が登壇し、町政に関する諸課題について、理事者の考えを質しました。

佐々木町長の施政方針（要旨） ～6つの基本方針に 基づいた施策～

- 1 豊かな自然環境と共生するまちづくり
 - ・自然環境の保全と活用のため、適切な森林整備と推進
 - ・環境に配慮した新エネルギーの普及促進と地域振興
 - ・高規格道路及び地域高規格道路の整備促進
 - ・道道・町道の整備及び公共交通の充実による交通の利便性確保
- 2 安全・安心で住みこころのよいまちづくり
 - ・環境を保全し、快適でうるおいある生活環境づくり
 - ・栄行団地及びふくろ団地公営住宅の建設と良好な住宅環境の整備
 - ・石綿管の更新と計画的な上水道施設整備
 - ・水洗化の普及及び遠軽下水処理センター等の施設更新・整備
 - ・防災・危機管理体制の強化のため、丸瀬布地
- 3 元気な産業と活力あるまちづくり
 - ・域での防災訓練を実施
 - ・遠軽町清掃センターごみ焼却施設更新にかかるとる基本構想策定
 - ・後継者確保と新規就農促進及び支援
 - ・自給飼料増産のための草地整備改良と特殊疾病清浄化対策
 - ・マスコミを活用した特産品のPR並びに地場産業の振興
 - ・遠軽町企業振興促進条例に基づく、地域経済の発展及び雇用機会の拡大
- 4 健康で生きがいと安全なまちづくり
 - ・「プレミアム付建設券」の発行による新たな需要の創出
 - ・緊急雇用創出事業を活用し、就業機会創出と新たな雇用の場を確保
 - ・健康で生きがいを大切にし、互いにささえあうまちづくり
 - ・各種検診の受診率向上
- 5 いきいきとした心を育み、文化の薫るまちづくり
 - ・南小学校大規模改修工事実施
 - ・安全・安心な給食提供のため、衛生管理の徹底と運営体制を充実
 - ・遠軽地域体育施設の指定管理者制度導入
 - ・ジオパークに関する情報発信機能等の集約による交流人口の拡大
- 6 みんなで進める協働のまちづくり
 - ・第2次行政改革推進計画取り組み方針に基づく持続可能な自治体運営の確立
 - ・陸上自衛隊遠軽駐屯地存置期成会等との連携

平成24年度各会計予算総額 203

新年度予算審議

予算審査特別委員会を設置

平成24年度遠軽町一般会計を含む8会計予算については、議長を除く全議員により予算審査特別委員会（山田和夫委員長）を設置し、3月12日から14日の3日間にあつて委員会で慎重に審査した結果、本会議において全会一致で可決しました。

○委員長報告

【付帯意見】

- ・予算運用にあつては慎重に執行するよう求める。
- ・新規事業等予算は、十分な説明をするようお願いしたい。
- ・町政にかかる予算は、所管常任委員会との協議等を経て執行願いたい。
- ・中期的な公債費の償還（公債費比率）と予算との推移についての資料を提供願いたい。
- ・説明資料について、歳出の詳細・説明が不足していることから、改善等をされたい。

【口頭報告】

特別委員会において、行政側からの答弁の中で、予算の詳細等について各担当部課長に対し説明を求めたところでありますが、詳細について十分な説明ができない事業、項目などが目についたところです。

予算を計上するにあつては、当然、内部で十分な協議し、関係団体等とも協議をしていると思うところであり、また、今後においては、説明をする際、十分な資料をもとに対応していただきますようお願いするものであります。



各会計の当初予算状況

会計名	H 2 4 年度 当初予算額	H 2 3 年度 当初予算額	対前年度 比較(%)
一 般 会 計	136億3500万円	133億2200万円	2.3
国民健康保険特別会計	27億1011万6千円	26億596万4千円	4.0
後期高齢者医療特別会計	2億8767万4千円	2億6249万1千円	9.6
介護保険特別会計	13億9760万1千円	13億4944万3千円	3.6
個別排水処理事業特別会計	689万4千円	641万2千円	7.5
公共用地先行取得事業特別会計	873万4千円	898万円	▲ 2.7

※企業会計（水道事業会計、下水道事業会計）については、紙面の都合により割愛しました。

平成24年度一般会計予算

136億3500万円

緑の園等建設事業 6.1億円 消防救急デジタル無線整備事業 3.2億円

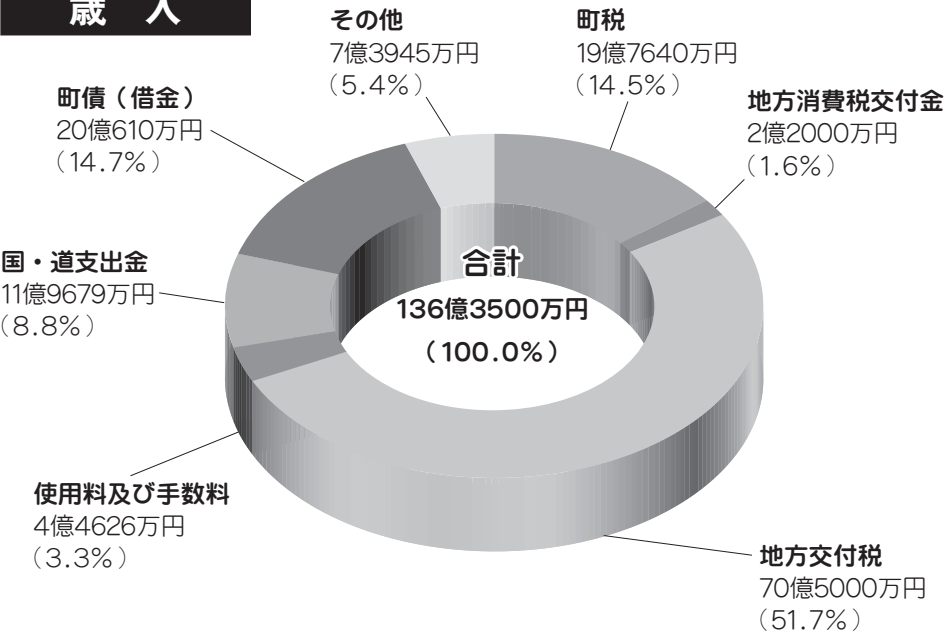


歳入では、地方交付税は70億5千万円、臨時財政対策債（交付税で全額補てんされる借金）は6億円と、前年度と比較して微増ですが、投資的事業等の財源となる町債（借金）は5億5千万円の増（対前年度比38・1%増）となっています。また、町税は法人税等

固定資産評価額の
下落により町税減収

義務的経費 対前年比4・9%減
白滝・丸瀬布地域開基100年記念事業へ補助

歳入



の増額を見込んでいます
が、固定資産評価替えに
より評価額が下落してい
るため、固定資産税の減
収により19億7千万円
（対前年度比1・9%
減）の計上となっていま

町債（町の借金）の内訳

単位：万円

事業名	予算額	事業名	予算額
ジオパーク案内板設置事業	1,190	除雪機械整備事業	680
養護老人ホーム緑の園等建設事業	61,180	公営住宅建設事業	12,010
生田原診療所医療機器整備事業	1,200	消防車両整備事業	1,250
丸瀬布厚生病院医療機器整備事業	7,660	消防救急デジタル無線整備事業	30,880
平和山公園小規模治山事業	900	南小学校大規模改修事業	8,530
道路新設改良事業	15,130	臨時財政対策債	60,000
計			200,610

投資的経費 大幅に増額

歳出は、義務的経費で人件費、公債費等の減額により対前年度比4・9%の減となっています。

投資的経費では、養護老人ホーム緑の園等建設事業で6億1千万円が計上され、民生費は前年度と比較して6億5千万円の増額、消防費は、消防救急デジタル無線整備事業負担金に3億円を新たに計上するなど、対前年度比25・8%の増となりました。

また、今年度から遠軽地域の体育施設が指定管理者制度を導入するため、教育費に指定管理料を計上しています。

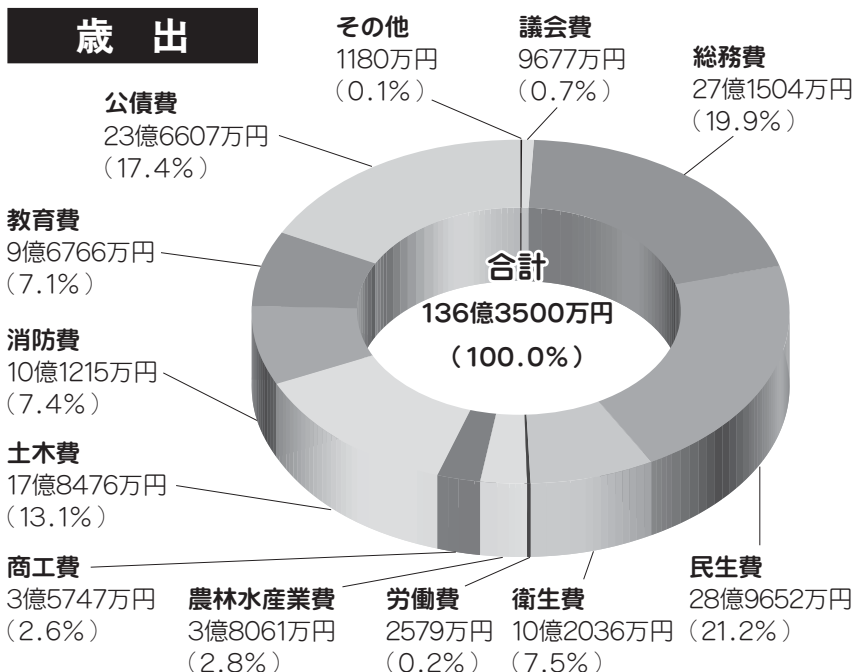
なお、今年度は白滝地域及び丸瀬布地域において開基100年、白滝小学校開校100周年、合気道開祖植芝盛平翁ゆかりの地入植100年を迎えることから、記念事業に対する補助金を計上しています。

○町債とは

町民の皆さんが幅広く利用できる福祉施設や、道路の新設・整備など、大規模な建設事業の多額な資金を、国や金融機関から長期に借りる借入金のことです。

○公債費とは

地方自治体が借り入れた地方債の元利償還費や一時借入れ金の利息のことです。人件費、扶助費とともに義務的経費のひとつとなっています。市町村にあっては道からの貸付金の返還金及びその利子が含まれます。



隊員75名を激励に！ 佐々木町長ら3名のハイチ旅費を予算計上

国連平和維持活動（PKO）でハイチに派遣されている陸上自衛隊遠軽駐屯地第25普通科連隊の隊員75名を激励するため、渡航費用として1人当たり30万円（3名分90万円）を予算計上しました。

◎ハイチPKO派遣

2010年1月12日（日本時間13日6時53分）にハイチ共和国で発生した地震（ハイチ地震）により、20万人以上が死亡。

国際連合安全保障理事会は、1月19日に国際連合ハイチ安定化ミッションの増員などを含む決議を採択し、各国に派遣を要請しました。これに対して日本は施設部隊を派遣することを決定しました。

派遣された陸上自衛隊の部隊は、倒壊した建物のがれきの撤去や道路の補修等を実施します。

14日の予算審査特別委員会では、高橋眞千子委員から「町の要職者が、治安の悪い地域になぜ行かなければならないのか」「激励の方法は、別な形で出来る」と質しましたが、佐々木町長は「厳しい環境で活動しているからこそ激励した

平成24年度主な事業①

総務課

○100年記念事業 4,600千円

- ・丸瀬布地域開基100年記念事業補助金
- ・白滝地域開基100年記念事業補助金
- ・合気道ゆかりの地入植100年記念事業補助金

○防災対策事業

- ・防災用品、備品等購入

○東日本大震災復興に係る人的支援

4月からの1年間岩手県宮古市へ、被災者の健康保持活動などを行うため、町保健師6名（1名につき2か月）を派遣。

総務部



岩手県宮古市災害派遣慰問

企画課

○エネルギー対策事業

- ・住宅用太陽光発電システム設置補助金 24,000千円（50件）
- ・ペレットストーブ購入補助金 1,500千円（5件）



ジオサイトマップ（白滝支所前）

ジオパーク推進課

○ジオパーク案内看板設置事業

- ・案内板設置 7箇所 18,115千円
- 国道333号及び旭川紋別自動車道周辺に、白滝ジオパーク交流センターへの案内サインを設置。

○ジオパークガイドブック作成事業

- ・ジオパークガイドブックの編集及び製本 2,814千円
- ジオサイト情報や学術解説のほか、白滝ジオパークの情報を網羅するガイドブックの作成、販売。

民生部



丸瀬布 緑の園

保健福祉課

○民間社会福祉施設整備事業

- ・老人福祉施設建設事業補助金 611,857千円
- 養護老人ホーム緑の園改築等補助金

○児童自立支援施設補助事業

- ・社会福祉施設建設事業補助金 12,388千円
- 北海道家庭学校寮改築等補助金

○地域医療対策事業

- ・丸瀬布厚生病院医療機器整備事業補助金 76,650千円
- マルチスライスX線CT装置等一式

○医科診療所運営事業

- ・生田原診療所医療機器購入 12,024千円
- 心電図検査装置、投薬分包機、骨密度検査装置

住民生活課

○地域集会施設管理事業

- ・学田住民センター外壁塗装等改修工事 3,591千円

○ごみ処理場管理事業

- ・広域一般廃棄物処理施設基本構想等作成業務委託 4,883千円

○戸籍・住民基本台帳管理事業

- ・住民基本台帳システム改修業務委託 4,725千円

清掃センター



経 済 部

農政林務課

○畑地帯総合整備事業 15,442千円

- ・ 総事業費76,000千円のうち、町負担15,200千円
八重第1支線用水路工事、八重排水路整備工事、用地補償費ほか

○用排水路整備事業 18,804千円

- ・ 中央幹線放水路調査設計業務委託 5,840千円
網走建設管理部で実施中の生田原川改修工事の中で、40号線地先に排水工の設置が確定したことから、接続する放水路の実施設計を行う。
- ・ 安国排水路支線整備工事 9,880千円
現況は、素掘りの排水路で水路が浅いため降雨時などに農地が冠水している原因となっている。

○小規模治山事業 17,500千円

- ・ 丸瀬布平和山公園小規模治山事業工事・設計業務委託料
平和山公園に至る町道法面について、モルタル吹き付け等の経年劣化による改修工事。

商工観光課

○商工業融資利子補給事業 8,916千円

- ・ 町融資利子及び保証料補助金
町内企業の事業運営が円滑に行われるよう、設備投資資金や事業運転資金の融資に対する利子及び保証料に対する補助金。

○商工業振興事業 5,385千円

- ・ プレミアム付建設券発行事業補助金
建設業者が新たな事業創設を図れるよう、プレミアム付建設券発行事業に係る補助。



遠軽市街地

建設課

○道路新設改良事業

- ・ 南町39号線道路改良舗装工事 76,700千円
東1線道路から国道242号に向かい改良・舗装を実施。
- ・ 東2線道路防雪工事（防雪柵） 50,000千円
冬期間の地吹雪による視界不良や交通障害等の解消を図る。
- ・ 白滝市街西線道路改良舗装工事 40,000千円
市街地と西区川向地区を結ぶ連絡道路の改良・舗装を実施。

○道路橋りょう維持事業

- ・ 中通排水整備工事 20,000千円
既設トラフが老朽化・劣化しているため整備する。
- ・ 除雪対策事業 22,805千円
白滝の除雪ドーザの老朽化等により購入。



白滝市街西線道路改良舗装工事



生田原 栄行団地

○町営住宅建設事業

- ・ ふくろ団地公営住宅新築工事 172,200千円
遠軽町住生活基本計画及び町営住宅長寿命化計画に基づき、福路地区に建設する。
- ・ 栄行団地公営住宅建設工事 92,937千円
老朽化が著しいことから、遠軽町住生活基本計画及び町営住宅長寿命化計画に基づき、建設する。

平成24年度主な事業②

教育部ほか

教育委員会

○学校建設事業

- ・南小学校大規模改修工事 113,778千円
校舎トイレ及び給排水設備等改修、防球フェンスを設置。
- ・小学校遊具設置工事 2,141千円
遊具撤去に伴う新たな遊具の設置。
- ・遠軽小学校放送設備等更新工事 3,100千円
放送室の音声調整卓等の更新。
- ・南中学校バリアフリー対策工事 4,000千円
トイレブース内の改修及び階段手すりを設置。

○昆虫の里管理運営事業 20,693千円

○埋蔵文化財センター管理運営事業 14,694千円

○体育館管理運営事業 151,853千円 指定管理制度導入による社会体育施設管理費用ほか。



学校遊具

消防

○広域組合運営事業

- ・消防救急デジタル無線整備事業 838,722千円
消防無線について、アナログ無線信号をデジタル無線にするための整備事業。
遠軽町負担額はおよそ320,000千円。

議会改革・活性化等調査 特別委員会を設置しました

議会活動のあり方を検証し、自主・自立的な議会改革を一層推進していくための調査・研究を行うことを目的に『議会改革・活性化等調査特別委員会』が設置されました。

この特別委員会は、3月15日に地方自治法第110条及び遠軽町議会委員会条例第6条の規定に基づき、議会で承認され設置。同法第110条第2項及び同条例第8条の規定により8名の委員が選出されました。

この日行われた第1回議会改革・活性化等調査特別委員会では、委員長及び副委員長を互選により選出してきました。

4月11日に行われた2回の特別委員会では、今後調査するテーマについて各委員からいろいろな提案が出され、町民に何を求められているかを確認し、町議会としての改革等を示す1つの方法と

して議会基本条例の制定も視野に入れ、議会改革・活性化に関する議論を交わしました。

◎議会改革・活性化等調査特別委員

- ・委員長 浅水議員
- ・副委員長 杉本議員
- ・委員 阿部議員
- ・委員 荒井議員
- ・委員 岩澤議員
- ・委員 黒坂議員
- ・委員 高橋議員
- ・委員 山田議員

○第1回議会改革・活性化等調査特別委員会 (3月15日)

- ・委員長及び副委員長の互選

○第2回議会改革・活性化等調査特別委員会 (4月11日)

- ・調査内容の確認について
- ・これからの取り組み等の確認について

議会を傍聴してみませんか？

定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、臨時会は必要に応じて随時開かれます。議会を傍聴される際は、規則がありますので規則を守って傍聴することをお願いします。

主 な 内 容

まちづくり自治基本条例推進委員会条例制定を提案 介護保険料は平成24年度から改定・増額

補正予算

平成24年6月30日をも
つて任期満了となる人権
擁護委員候補者として
宿 谷 隆 司 氏
(丸瀬布水谷町)
山 本 美栄子 氏
(丸瀬布西町)

平成23年度遠軽町一般
会計補正予算(第8号専
決、第9号、第10号追加)
は、生田原コミュニティ
センター「ノースキン
グ」浴場等改修再工事に
伴う増額や、事業精査、
入札執行に係る減額等に
より、1億138万円を
減額し、予算総額を13
5億8724万円としま
した。

各会計の補正予算は別
表のとおりです。

○生田原コミュニテイセ
ンター「ノースキン
グ」浴場等改修工事
400万円

人 事

◆人権擁護委員候補者の
推薦

条例制定

◆遠軽町まちづくり自治
基本条例推進委員会条
例

遠軽町まちづくり自治
基本条例の適正かつ円滑
な運用と条例の見直しを
行うために必要な調査・
検討及び審議を行う付属
機関を置くため本条例を
制定するものです。
なお、推進委員には公
募の枠があります。
(総務・文教常任委員会
付託。閉会中の継続審
査)

条例改正

◆遠軽町介護保険条例の
一部改正について
第5期介護保険事業計
画(平成24～26年度)の
策定に伴い、本条例の一
部を改正するものです。
(全員賛成可決)

◆遠軽町丸瀬布林鉄機関
車設置条例の一部改正
について

軌道用自転車を運行す
るため、本条例の一部を
改正するものです。
(全員賛成可決)

◆遠軽町丸瀬布森林公園
いこいの森条例の一部
改正について
いこいの森の施設を追
加・廃止し、使用区分等
を整理するため、本条例
の一部を改正するもので
す。
(全員賛成可決)

そのほか、7本の条例
の一部改正について、原
案通り可決されました。

介護保険第1号被保険者保険料新旧対照表

所得段階	調整率	保険料(年額)	
		現行	改正後
第1段階	基準額×0.50	17,400円	18,600円
第2段階	基準額×0.50	17,400円	18,600円
第3段階	基準額×0.62	—	23,000円
	基準額×0.75	26,100円	27,900円
第4段階	基準額×0.87	30,200円	32,300円
	基準額×1.00	34,800円	37,200円
第5段階	基準額×1.25	43,500円	46,500円
第6段階	基準額×1.50	52,200円	55,800円



軌道用自転車(いこいの森)

遠軽町各会計補正予算の状況 (3/8～第1回町議会(定例会))

会 計 名	補正前の額	補正額	総 額
平成23年度遠軽町一般会計補正予算(第8～10号)	136億8,862万円	△1億138万円	135億8,724万円
平成23年度遠軽町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	27億4,319万円	772万円	27億5,091万円
平成23年度遠軽町介護保険特別会計補正予算(第2号)	13億5,655万円	3,479万円	13億9,134万円
平成23年度遠軽町個別排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	641万円	△71万円	570万円

※企業会計(水道事業会計、下水道事業会計)については、割愛させていただきます。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

高橋眞千子 議員



問

脳外科医確保の取り組みは

答

脳外科専門医の配置の必要性を訴える



問

遠紋地区から脳外科医師がいなくなつて2年になります。昨年1年間で北見に搬送された脳卒中患者数は、65件にもなっています。脳外科医師確保に向けた町長の考えは。

町長

脳卒中の発症に対しては早期治療が必要であり、地元の医療機関に脳外科医師が常駐していないことに大変憂慮しがたい事態があると認識しています。

救急車が北見市内等の脳卒中対応医療機関に直接搬送が可能となり、また、ドクターヘリが運行

再問

北見遠軽間のバスもなくなり、脳外科の医師もいなくなりました。脳外科医師が確保できるまでの間だけでも、北見遠軽間に週2、3回通院バスのような形で走らせることはできませんか。

町長

どのくらい需要があるのかも含め、今後検討すべきと思いますので、まずは実態を調べます。

問

武道等、必修化にかかる環境整備は必修化に向け準備は進めています

答

問

新年度から、中学校1・2年生は、体育の授業で武道とダンスが必

修となります。男女共に柔道や相撲など武道の授業を受けますが、以下の点について今後の取り組みは。

① 教師に対し、町として研修や講習、指導などが行われていますか。また、今後開催する考えは。

② 外部指導者等の協力の考えは。

③ 用具などの費用は保護者負担ですか。

④ 安全に活動できる環境は十分整っていますか。

教育長

今年4月から武道、ダンスの必修化に向けて、移行期間である平成21年度から23年度

の3年間で武道を取り入れている学校もあり、準備を進めてきています。

① 町としては行っていないませんが、北海道教育委員会が実施していますので、積極的に参加するよう働きかけます。

② 現在、白滝中学校の合気道の授業で外部指導者の協力をいただいています。また、町内の柔道に関係する方やダンスをされている方から、要望があればお手伝いや協力をさせていただきたいという話も受けています。

③ 柔道着などは、体育と同様の取り扱いとし、個人負担としています。

④ 安全な武道の授業に当たっては、適切な実施場所の確保、設備の安全確認、日々の安全点検の励行などを行います。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

山田 和夫 議員



問 町内企業の経営は、国の資金が東日本大震災復興中心に流れる中、厳しい経営環境下にありま
す。
町内経済の活性化を図るためにも、企業振興促進条例の助成内容を見直し、さらに充実できませ
んか。
また、町内の個店商店は売り上げが伸びず、非常に経営が苦しいと聞いています。プレミアム付商品券に再度取り組んではどうですか。

町長 企業振興促進条例は、従業員増加が5人未満または雇用のない設備投資への助成が、平成

21年度で終了予定としていたものを25年度まで延長して企業振興に努めてきました。町の財政を考えると現状で目一杯と考えています。
本年は、昨年に引き続きプレミアム付建設券事業に取り組み活性化を図ることとしており、プレミアム付商品券事業は建設券事業の状況を見ながら判断します。

問 町道維持、除排雪事業一括委託方式採用を
答 組合設立地域から採用を進めている

問 国の公共事業縮減を受け、本町でも公共事業発注が減少しています。

業者の中には、建設機械を自社保有できなかつたり台数を減らすところも出てきています。
特に、除排雪機械不足も予想されることから、町道維持・除排雪一括委託方式の採用が全国で多く見られます。本町でもこの方式の採用を進めるべきではないですか。

町長 排雪機械不足は全国共通の課題です。本町でも、機械と運転従事者の雇用確保を目的に、地域の除排雪委託業者自らが組合を設立してきており、白滝及び生田原地域では一括委託方式を採用しています。

丸瀬布地域は本年実施の方向で準備しています。遠軽地域は委託業者数や事業量も多く厳しい状況ですが、組合が設立された場合には検討します。

問 公住建設時のシックハウスの対策は
答 国の基準に基づく建材使用等に対応する

問 シックハウス症候群の発症は、合板建材等の使用が原因です。使用建材の厳格化対策をすべきです。

町長 公営住宅整備基準の中で、使用材料は全て国交省で定める「揮発性化学物質発散量」の最

問 町内企業への助成拡充で経済の活性化を
答 企業振興補助金とプレミアム付建設券発行事業で活性化を図る

も少ない「フオースター（四つ星）」建材とされ、換気も24時間換気が義務付けられています。
また、工事完成時の「化学物質・室内濃度測定」も義務化され、実施してきています。

●ホルムアルデヒド（CH₂O）発散建築材料の区分

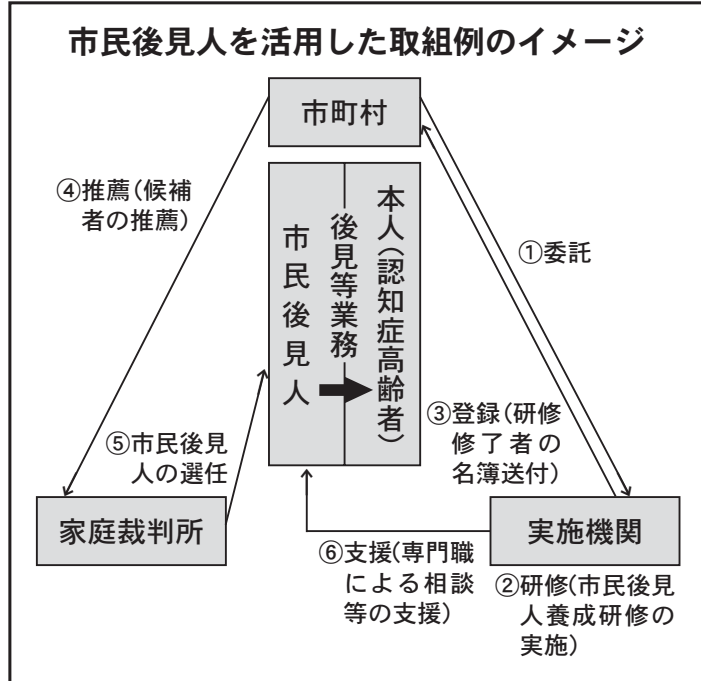
建築材料の区分	CH ₂ O発散速度	JIS・JASの表示記号	内装仕上げの制限
建築基準法の規制対象外	5μg/m ³ h以下	F☆☆☆☆	制限なし
第3種CH ₂ O発散建材	5～20μg/m ³ h以下	F☆☆☆	使用面積が制限
第2種CH ₂ O発散建材	20～120μg/m ³ h以下	F☆☆	
第1種CH ₂ O発散建材	120μg/m ³ h超	表示なし	使用禁止

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

阿部 君枝 議員



問

成年後見制度は、認知症や知的障害、精神障がいなどで判断能力が十分でない人の財産管理や身上監護契約、遺産分

配などの法律行為等を保護し支援する制度です。国は、利用促進のために自治体の長が後見人を立てる場合、要件の大幅

問

市民後見人の検討と周知を進めるべき

答

他の自治体を参考にし、今後の課題としたい

緩和や、成年後見制度利用支援事業の創設に取り組んでいます。

援の充実を図る考えはありますか。

町長

① 高齢化率の上昇と共に、見守りを必要とする方々の支援の一つとして取り組んでいるところであり、過去に町長が申立人として申請した事例があります。

② 今後、高齢者人口の増加、障がい者の社会参加の進展につれ、同制度の活用が重要ですが、今後の課題についての考え

は、③ 横浜市では、後見的支援を要する障がい者支援条例を施行しています。本町でも条例を設けて支

援を要する障がい者支援条例を施行しています。本町でも条例を設けて支

② 本人の生活、医療、

再問

遠軽町は障がい者施設、高齢者施設等が多いと思います。市民後

見人の養成や研修を実施していく必要性の高い町だと思えます。検討と周知は共に進め、少なくとも制度化に向けて実態調査をすべきです。

町長

他の自治体の事例を調べながら、今後の課題とします。

ここが聞きたい!!

議員本人の原稿を尊重しています。

一般質問

岩澤 武征 議員



問

中学校体育の武道必修化に伴う
安全策は

答

安全確保のため指導体制、指導
方法の工夫を周知する

問

今年の4月から中学1・2年生の体育で本格実施される武道必修化について、道教委のまとめでは、道内7割の学校が柔道を選択することが分かりました。

どんな種目にもケガはつきものですが、特に柔道はケガや事故につながりやすいという心配が保護者や教育現場から出されています。

現実に、1983年度から2010年度までに、授業や部活動中の柔道による死亡事故は、全国の中学・高校で114件あります。

町内の中学校での武道

の種目はどのようになっていますか。また、授業として実施されることから、柔道以外の種目で安全を守るためどのような対策が取られていますか。

教育長

平成24年度から本格実施となる中学校体育授業の武道の種目について、分校も含めた中学校7校中、柔道選択4校、相撲選択2校、相撲と合気道2種目選択1校となっています。

柔道及び柔道以外の種目の安全対策ですが、全ての体育活動には人為的要因や設備の状況など、様々な要因によって事故

やケガが発生する可能性は常に伴っていることから、これまでも体育の授業では、安全に十分配慮し指導してきています。

安全な武道の授業に当たっては、適当な実施場所の確保、設備の安全確認、日々の安全点検の励行と共に、生徒の健康管理と安全を確保するための指導体制、指導方法の工夫についても、各中学校に周知することはもとより、北海道教育委員会が主催する武道等の各種講習会への教員の参加も働きかけていきます。

柔道及び柔道以外の種目の安全対策ですが、全ての体育活動には人為的要因や設備の状況など、様々な要因によって事故

再問

これまで町内でのケガや事故はなかったのでしょうか。

北海道柔道連盟事務局長は「半日や一日程度の研修では安全性の確保は難しい」と言っています。先生の研修回数は何回くらいですか。

道教委は「教員が指導内容を決めてほしい」としています。柔道協会などの協力で「子どもの安全を守る」ため相談する場を作ってはどうか。事故防止のため、第三者委員会を作ってケガや事故の検証をするようにしてはどうでしょうか。

教育長、教育部次長

◎中学校武道・ダンスの必修化

文部科学省では、平成20年3月28日に中学校学習指導要領の改訂を告示。新学習指導要領では中学校保健体育において、武道・ダンスを含めたすべての領域を必修とすることとし、2012年度から中学校での武道・ダンスが必修化されました。

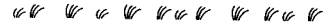
捻挫や打撲、足の指の骨折など5件の事例があります。

研修会への参加は、1人の先生が2回ほどと聞いています。

相談する場については、行政主導でやることでの別の課題もあるので、学校や担当教師の要望に添えていきます。

小さい事故も報告を受けていますし、今は第三者で検討することは考えていません。

委員会



所管事務調査報告

平成24年1月～3月

総務・文教

1月18日

- ・地域主権改革一括法の改正に伴う関係条例の整備について

- ・災害時における友好都市との相互応援協定の締結について

- ・消防救急デジタル無線整備について

- ・行政改革（使用料・手数料等）について

- ・遠軽町まちづくり自治基本条例の見直しについて

- ・町内学校遊具の整備について

- ・会計検査院による義務教育国庫負担金の検査について

- ・学校2学期制への移行について

- ・生田原コミュニティセンター「ノースキング」サウナ室改修工事について

- ・遠軽農林水産物直売・食材供給施設について

- ・遠軽町白滝ジオパーク交流センター条例の制定について

- ・遠軽町埋蔵文化財センター条例の一部改正について

- ・3月議会（定例会）提出議案について

- ・3月議会（定例会）補正予算について

- ・平成24年度各会計当初予算について

- ・災害時における友好都市との相互応援協定の締結内容について

- ・東日本大震災復興に係る人的支援について

- ・消防救急デジタル無線整備について

- ・遠軽町まちづくり自治基本条例推進委員会条例の制定について

- ・未利用財産等の処分に

- ・遠軽町図書館条例の一部改正について

- ・第5期介護保険事業計画における介護保険料について

- ・遠軽町介護保険条例の一部改正について

- ・民間社会福祉施設整備事業について

- ・児童自立支援施設補助事業について

- ・白滝産業廃棄物処理場の現況について

- ・白滝発電所について

- ・遠軽町丸瀬布林鉄機関車軌道設置条例の一部改正について

- ・遠軽町丸瀬布森林公園いこいの森条例の一部改正について

- ・遠軽町白滝ジオパーク交流センター条例の制定について

2月24日

- ・遠軽町税条例の一部改正について

- ・遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正について

- ・遠軽町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正について

- ・遠軽町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について

- ・遠軽町町営住宅管理条例の一部改正について

- ・遠軽町住生活基本計画について

- ・遠軽町町営住宅長寿命化計画について

- ・遠軽町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

3月30日

- ・遠軽小学校給食室視察



遠軽小給食室

民生

1月20日

- ・遠軽町高齢者保健福祉計画、第5期介護保険事業計画及び第2期遠軽町地域福祉計画について

- ・消防救急デジタル無線整備について

- ・生田原コミュニティセンター「ノースキング」サウナ室改修工事について

- ・遠軽農林水産物直売・食材供給施設について

2月23日

- ・3月議会（定例会）補正予算について

- ・平成24年度予算の概要について

- ・遠軽町高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画、遠軽町地域福祉計画、遠軽町障害福祉計画について

- ・遠軽町介護保険条例の一部改正について

- ・遠軽町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する

委員会活動

条例の一部改正について

- ・遠軽町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について

- ・遠軽町税条例の一部改正について

- ・遠軽町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正について

- ・平成23年度不納欠損分について

- ・丸瀬布歯科診療所の歯科医師について

- ・白滝産業廃棄物処理場の現況について

- ・白滝発電所について

- ・消防救急デジタル無線整備について

- ・行政改革（使用料・手数料等）について

- ・住宅用太陽光発電システム助成事業について

- ・南小学校大規模改修について

- ・遠軽町住生活基本計画について

- ・遠軽町営住宅長寿命化計画について

- ・遠軽町介護保険条例の一部改正について

経済

1月17日

- ・生田原コミュニティセンター「ノースキン

- グーサウナ室改修工事について

- ・遠軽農林水産物直売・食材供給施設について

- ・観光施設入り込み状況について

- ・遠軽町営住宅管理条例の改正について

- ・消防救急デジタル無線整備について

2月15日

- ・生田原コミュニティセンター「ノースキン

- グーサウナ室改修工事について

- ・遠軽農林水産物直売・食材供給施設について

- ・遠軽町営住宅管理条例の改正について

- ・遠軽町住生活基本計画について

- ・遠軽町営住宅長寿命化計画について

- ・平成23年度補正予算について



いこいの森センターハウス完成

- ・平成24年度予算について

- ・平成24年度社名洲飲料水供給施設予算について

- ・遠軽町丸瀬布林鉄機関車軌道設置条例の一部改正について

- ・遠軽町丸瀬布森林公園いこいの森条例の一部改正について

- ・遠軽町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

- ・消防救急デジタル無線整備について

- ・行政改革（使用料・手数料等）について

- ・平成23年度補正予算について

- ・遠軽町介護保険条例の一部改正について

議会運営

1月23日

- ・議員定数問題について
- ・議会運営におけるパソ

- ・住宅用太陽光発電システム助成事業について

- ・南小学校大規模改修について

- ・第5期介護保険事業計画における介護保険料について

- ・民間社会福祉施設整備事業について

- ・児童自立支援施設補助事業について

- ・白滝産業廃棄物処理場の現況について

- ・白滝発電所について

- ・遠軽町丸瀬布林鉄機関車軌道設置条例の一部改正について

- ・遠軽町丸瀬布森林公園いこいの森条例の一部改正について

- ・遠軽町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

コンの使用の検討について

- ・平成24年度予算について

- ・町議会の運営について

- ・予算審査特別委員会について

- ・議会改革について

- ・平成24年第1回遠軽町議会（定例会）について

- ・予算審査特別委員会について

- ・3月13日

- ・特別委員会の設置について

- ・3月15日

- ・平成24年第1回遠軽町議会（定例会）追加議案について

広報

1月16日

- ・議会だより第25号の編集・校正について

3月8日、22日

- ・議会だより第26号の編集・校正について

3月議会を傍聴して

傍聴席



大通北7丁目
太田 稔さん

①傍聴月日 3月9日

②傍聴回数 毎議会傍聴

③感想

議会傍聴に参加して、傍聴者も固定化しているように思います。

当日は一般質問が行われましたが、質問者が少なくなっていると感じました。

一般質問を聞いていて、町民のことを考えての質問が多くありましたが、今、各地で報道されている孤独死の問題に触れてほしいと思います。

④議会に対する要望等

町民の方から、議会開催の日時がわからないという声があります。周知方法を検討すべきです。

⑤議会だよりに対する要望

議会だよりは、一般質問で質問者の顔写真も載せるなど、いろいろな工夫されていることが伺われます。

昨年6月に「えんがる議会だより」が、北海道町村議長会から表彰された記事を見ました。広報特別委員会の一層の発展を期待します。

また、「議会改革・活性化等特別委員会」が設置されましたから、特別委員会の記事を書いていただくことを要望します。

友好都市間の災害時相互応援に関する協定を締結

和歌山県田辺市、茨城県笠間市、京都府綾部市及び遠軽町（以下「協定市町」という。）において、災害（災害対策基本法第2条第1項及び原子力災害対策特別措置法第2条第1号に規定する災害）が発生した場合に、被災した協定市町に対する応急対策及び復旧対策を円滑に遂行するため、相互の応援体制についての協定を締結しました。

この協定は、2月15日に東京にて4市町長が参集し締結され、同日施行されました。協定の内容は、災害に遭った協定市町に対し、物資の供給や人的支援・派遣のほか、ボランティアのあつせんや児童・生徒の教育機関への受け入れ及び被災者を受け入れるための施設提供等についても応援することが盛り込まれています。

災害協定調印式



編集後記

寒いこの地方にもようやく春の訪れが感じられ、3月は卒業、4月には入学と、異世代が異動する時期でもあり、何となく慌ただしい気がしました。太古の昔は時間に追われることもなく、本州やサハリン、遠くはモンゴルなどからも黒曜石を求めこの地へやって来たのだようです。

現代人は、この足跡を□マンとも言いますが、困難の連続に立ち向かってきた精神力と、精巧な石器を作り上げた英知に脱帽です。

4月2日にオープンした白滝ジオパーク交流センターで「地球と人とのつながり」が見えてくるそんな「□マン」を体験してみたいかがでしうか。

広報特別委員会

委員長 荒井 範明
副委員長 奥田 稔
委員 阿部 君枝
委員 今村 則康